



### 今年一年の安全と防災・防火を誓う



1月9日、串良町有里の串良平和公園陸上競技場で「平成23年鹿屋市消防出初式」が開催されました。

消防団は、本業を持ちながら地域の安全安心を守るために活動し、現在950人の団員が消火活動や防災活動に従事しています。当日は、市内全47分団の消防団員や大隅肝属地区消防組合職員、海上自衛隊鹿屋航空基地隊員など約900人が参加。式では、多くの観客が見守る中、観閲や消防団員及び消防車による分列行進、小型ポンプや消防車による消防ポンプ操法、大隅肝属地区消防組合によるはしご車救出訓練などが行われたほか、永年にわたり消防・防災活動に尽力した消防団員や功労者など延べ200人に表彰状の伝達と感謝状の贈呈が行われました。最後には全員で万歳三唱をして、今年一年の安全と防災・防火を誓いました。

串良

### 春の訪れを告げる 「くしら二十三や市」

KUSHIRA



1月22日・23日の2日間、串良総合支所周辺の道路およそ1kmを歩行者天国にして「くしら二十三や市」が開催されました。二十三や市は、江戸時代後期に正月用品の物々交換の場として旧暦の12月23日に始まったとされ、戦後一時途絶えていたのが、昭和27年に復活。当日は、植木や春物の花木、刃物、陶器、衣類などが販売され、朝早くから品定めをする多くの買い物客でにぎわいました。また、剣道大会や消防音楽隊パレードのほか、保育園児による太鼓演奏やマーチング、カンパチ解体ショーなども行われ、伝統ある行事を盛り上げました。

吾平

### 早春の風物詩 「名物あいら木市祭」

AIRA



1月8日・9日の2日間、吾平町麓の吾平町商店街約300mを歩行者天国にして「名物あいら木市祭」が開催されました。吾平地区の早春の風物詩として、また、県内で一番早い木市として有名なあいら木市祭は、商店街の活性化と地域振興を目的に毎年行われているもの。通りには、地元商店街や市内外から約100店舗が出店し、植木や苗木、刃物類、地元加工グループの手作り加工品などが販売されたほか、たまごのつかみどり大会やひょっとこ踊り、マジックショー、お楽しみ抽選会なども行われ、市内外から訪れた多くの買い物客でにぎわいました。